

平成26年10月27日  
ぐんまみらい信用組合

## 第2回 経営諮問会議の概要について

当信用組合は、理事会の諮問機関として、外部有識者から構成される「経営諮問会議」を設置しております。本会議は、外部有識者より経営全般について助言・提言をいただき、これを経営に反映させることにより、経営の客観性・透明性を確保し、コーポレート・ガバナンスを強化することを目的としております。

過日、「第2回経営諮問会議」を開催いたしましたので、その概要につきまして、下記のとおりご報告させていただきます。

なお、第3回会議は、平成26年度仮決算状況を踏まえて平成27年1月頃に開催する予定にしております。

### 記

#### 1. 日 時

平成26年8月26日(火) 11:00~12:50

#### 2. 場 所

群馬ロイヤルホテル 9階 ガーデニア

#### 3. 出席者

(経営諮問委員) <五十音順、敬称略>

金居 成治 (群馬県商工会連合会 専務理事)

小林 優公 (弁護士)

根岸 富士夫 (公益財団法人 群馬県産業支援機構 理事長)

平田 稔 (公認会計士)

矢澤 敏彦 (高崎商工会議所 専務理事)

矢野 修一 (公立大学法人 高崎経済大学 経済学部教授)

(ぐんまみらい信用組合)

榊 博 (理事長)

高栞 誠 (常務理事)

小林 章 (常勤理事)

猿橋 正博 (常勤理事)

八高 武 (常勤理事)

羽石 良夫 (常勤監事)

#### 4. 榊理事長挨拶

第2回目の経営諮問会議ということで、前年の決算概況が中心になると思われま

前回の諮問会議より、常勤役員3名が交代となっております。

従来からの中小規模事業者への融資の増強、経営改善に向けたコンサル業務の拡充、小口多数主義による経営基盤については、全く変化は無いことを総代の皆様にお話させていただきました。加えて5年先、10年先を見据えた経営戦略を立てるということで、具体的には店舗政策の見直し、組合員と組合員の横の繋がりをビジネスマッチング等により積極的に関与し、組合と地域社会の連携強化を図ることにより、地域に無くてはならない金融機関を目指し、組合経営に当たって行きたいと思っております。引き続き、委員の皆様にはこれまで以上にご意見、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

## 5. 当組合からの説明要旨

榊理事長より以下の内容について説明いたしました。

- ・ 平成25年度決算実績
- ・ 平成25年度「経営強化計画」における計数計画推移管理表
- ・ 平成26年6月末 経営強化計画の履行状況報告書

小林常勤理事より下記内容について説明いたしました。

- ・ 第1回経営諮問会議のご意見、ご提言の取り組み状況

## 6. 意見交換

出席者から以下のご意見、ご提言を頂きました。

- 地域の今まで光が当たらなかったような部分に光を当てて応援しなくては、地域経済は良くならない。そういった部分で目利きを充実させ、経営全般を支援できるような体制作りをしたほうが良い。
- 企業を潰さないようにすることだと思う。企業の代表者と話をしながら、専門家も交えて良い方向に持っていくことが一番大事だと思う。
- 既存の顧客の底上げが大事になってくる。信用保証協会といった担保が無くて良いような貸し方が出来ないか。もう少し組合で信用リスクを取っても良い先を育てていくことが必要。
- 営業は、やはりお客様との接触だと思う。
- 商工会議所、その他いろんな組織と連携していく中で企業を手助けできれば良いと思う。
- 組合員相互の連携と、組合と地域社会との連携は是非とも推進してほしい。
- 貸出先を見つけられる人材の育成を是非ともお願いしたい。
- 地元の企業が如何に元気になっていくか、そのために成果を出して、役に立ったと思うことが大事である。成果が口コミで広まれば職員のやりがいやモチベーションにも繋がると思う。
- 目利き力を持った人材の育成を今後ともお願いできればと思う。そのための具体策として、良いテレビ番組を見るよう伝えて頂きたい。
- IT関連の投資を行い、業務を少し削減し、その分を営業に回し、目利き力を持った渉外に融資先を開拓するような取組もできればと思う。

### (2) 榊理事長からの回答

○大変貴重なご意見を頂きまして誠に有難うございました。

協同組織金融機関として地域にどれだけ貢献できるか、もしくはどれだけ無くてはならない存

在になれるかという部分のご提言だったのかなと思います。頂いたご提言を各担当部と十分に協議いたしまして、次回の会議で具体的な取組み状況をご報告できるような形を取りますので、委員の皆様には今後ともご協力をお願いします。

以 上